

田中啓之
高等司法研究科・准教授

【研究】

- ・税務大学校の依頼により「ドイツ法における租税秘密と個人データ処理」税大ジャーナル36号1頁を執筆し、特に租税情報と刑事手続の関係についてドイツ法の状況を示した。
- ・総務省の依頼により「宿泊税の現状と国際比較にみる法的課題」地方税75巻2号2頁を執筆し、英米独仏伊新という6か国との比較で、日本の宿泊税の法的課題を指摘した。
- ・中里実先生古希祝賀論文として「Andreas Kallergis『課税管轄権』を読む」を執筆し、仏における課税管轄権及び課税権という各概念に関する議論の到達点を示した。
- ・その他、1本の判例評釈がある。

【教育】

令和4年度と同様、法学部「税法Ⅰ」「税法Ⅱ」、高司「租税法Ⅰ」「租税法Ⅱ」「租税法演習」、法研「税法(特殊講義)」等を担当するとともに、国税庁からの派遣職員2名+1名を新たに修士課程の学生として迎えて、うち2名を1年での早期修了に導いた。

【管理運営】

教務委員として特にガイダンス資料の改定作業に従事した。また、新任の渡邊宏美先生をお迎えした「財務報告戦略」の世話教員を務めた。

【社会貢献】

2019年から継続して地方税共同機構「地方税における電子化の推進に関する検討会」委員を務めるとともに、2023年から新たに同「運営審議会」委員に就任した。